



甲西中学校だより

克己 自問 (こっきじもん)

2021・3・16発行

発行者：校長 金子 浩

第64回甲西中学校卒業式を挙行 ～卒業生99人の巣立ち～

3月11日(木)、体育館2階アリーナを式場に、甲西中学校第64回卒業式を挙行了しました。天候にも恵まれ、99名の卒業生が立派に巣立っていきました。新型コロナウイルス感染症対策のため、在校生の参加を見合わせ、来賓の臨席も制限した中での開催でしたが、今年度は、卒業生の保護者の方にも出席していただくことができました。卒業証書を受け取る卒業生の返事や態度から、中学校生活3年間の大きな成長が見て取れました。校長の式辞では、「校訓である『克己 自問』とは、自分で自分の心に問いかけることであり、自分自身を冷静に、かつ、客観的に見つめる力です。自分を中心に世の中を見るのではなく、社会の中の一人の存在としての自分を外側から見つめ、常に自問しながら、これから先も歩みを進めてください。」と、はなむけの言葉を贈りました。その後行われた、卒業生代表である森塚前生徒会長の別れのことは、全員による呼びかけには、これまでの思い出を振り返るだけでなく、保護者への感謝の気持ちやこれから先への自分たちの決意が力強く込められていました。最後に、学年合唱「決して泣かない」のきれいなハーモニーが会場いっぱいに響き渡り、閉式となりました。



卒業生に感謝の気持ちを込めて ～1・2年生による全校応援～

卒業式前日には、今までお世話になった3年生に感謝の気持ちを込めて、1・2年生による全校応援が行われました。2年生が中心となり、「がんばれ青学年 はばたけ青春」の横断幕を作成したり、昼休みなどを使って応援練習をしたりしてきました。また、在校生一人一人が卒業生に宛ててメッセージカードも書きました。当日は、校庭から3階のバルコニーにいる3年生に向けて、気合の入った応援を届けることができました。

